

第 21 卷 総 目 次

昭和 32 年度, 第 21 巻第 1 号～第 12 号

〔総 説〕

新しいウイルス病 (ウイルス学の 立場から) ……………	福見 秀雄	1～1
新しいウイルス病の臨床……………	北本 治・他	2～8
最近のウイルスの話題 (タバコモ ザイク, ウイルスの再構成) ……	松本 稔	1～22
ノイローゼとは……………	塩入 円祐	2～1
小児のノイローゼ……………	高木 四郎	2～12
精神身体医学の限界……………	阿部 正	2～17
育児に関するノイローゼ……………	斎藤 文雄	2～23
性に関するノイローゼ……………	西丸 四方	2～27
老人の心理的特徴……………	金子 仁郎	2～31
発疹チフス対策進展の跡を顧みて…	番場 伸一	3～1
結核治療指針の改正の要点……………	松本 隆夫	3～7
公衆衛生と家族計画……………	古屋 芳雄	4～1
家族計画と人口問題……………	北岡 寿逸	4～4
優生保護法について(その問題点)…	木村 又雄	4～7
家族計画の普及対策について……………	木村 又雄	4～12
人工妊娠中絶の産婦人科学的考察…	森山 豊	4～17
家族計画と地区組織活動……………	柴山知輝・他	4～23
家族計画と保健所活動……………	五月女謙一	4～28
家族計画と保健所活動……………	野村 澄江	4～31
家族計画と助産婦保健婦……………	児玉貴和子	4～34
生活保護家庭の家族計画について…	丹下坂宇良	4～37
生活保護世帯の家族計画……………	久保 秀史	4～40
村の保健婦と家族計画……………	大峽美代志	4～43
企業体に於ける家族計画 (常盤炭鉱)……………	林 英郎	4～46
” (日本鋼管)……………	篠崎 信男	4～49
家族計画の衛生教育……………	石垣 純二	4～54
海外の家族計画の勉向……………	村松 稔	4～57
避妊薬による受胎調節……………	六彌太忠行	4～61
米国の公衆衛生……………	橋本 道夫	5～1
英国の公衆衛生制度……………	曾田 長宗	5～11
フランスにおける衛生行政の 機構と医療制度……………	額田 榮	5～27
西独における衛生行政の 機構と医療制度……………	額田 榮	5～35
イタリアに於ける結核対策……………	磯江駿一郎	5～42
ソ聯を訪ねてその保健医療を観る…	陣岐 義等	5～49
公衆衛生と国際協力機関……………	斎田 晃	5～57
諸 統 計……………	厚生省統計調査部	5～63

社会保障制度申議会の勧告ならびに

医療保障委員の報告について……………	鈴木 晃	5～75
結核患者の食餌に就いて……………	春木秀次郎	6～1
浄化装置の原理と実際……………	岩戸 武雄	6～8
赤痢問題の徹底的検討……………	平山 雄	6～15
環 境 衛 生……………	橋本 正巳	7～1
母子衛生……………	林 路彰	7～6
老人病対策……………	松岡 脩吉	7～10
家 族 計 画……………	久保 秀史	7～18
衛 生 教 育……………	宮坂 忠夫	7～23
精 神 衛 生……………	高木 四郎	7～27
食生活改善……………	安江 正子	7～31
保健婦制度の歴史……………	平井 雅恵	8～1
現在の保健婦活動における障碍……………	山本 テイ	8～10
現在の保健婦活動における障碍……………	林 みどり	8～14
これからの公衆衛生に於ける 保健婦の役割……………	中尾 仁一	8～18
これからの公衆衛生に於ける 保健婦の役割……………	丸山 博	8～21
保健婦再教育の重要性とその方向…	中道千鶴子	8～24
保健婦の身分統一の問題……………	永野 貞	8～25
保健婦の身分統一の問題……………	平林 京子	8～29
周囲の無理解を如何に打破するか…	大場そとえ	8～31
保健所におけるクリニック……………	大津 秀子	8～34
訪問指導と集団指導の比重……………	宮坂 久子	8～36
各国の保健婦業務……………	金子 光	8～38
駐在制の問題……………	土橋 つる	8～42
再教育の現状と改善……………	上村 聖恵	8～45
後進の獲得……………	柴田 幸江	8～47
婦長制の確立……………	山崎 千春	8～49
職場の保健婦から……………	長江寿恵子・他	8～51
主 張……………	戸田 正三	9～1
ふん尿びじん芥処理の現況……………	楠本 正康	9～4
米国における尿尿並に塵芥処理の 現状……………	内藤 幸穂	9～8
都市における尿尿処理の諸問題……………	児玉 威	9～14
都市に於ける塵芥処理の諸問題……………	海淵養之助	9～21
各種便所の得史……………	谷川 久治	9～26
尿尿の資源化と化学処理について…	谷川 久治	9～36
河川海洋の汚染……………	三浦 運一	9～44
人口の老化は危険か……………	館 稔	10～1
ケース研究の仕方……………	土井 正徳	10～8
腐 敗……………	宮木 高明	10～14

調理とビタミン	元山 正	10~24
世界の社会保障制度	館林 宣夫	11~1
オウム病	松本 稔	11~5
医学生の Medico-Social Training		
について	東京大学医学部	11~15
Aアジア57型ウイルスによるインフルエンザの世界的流行状況	松田 心一	12~3
日本に於けるインフルエンザ流行の趨勢と対策		
Ⅰ全国的な趨勢と対策	佐竹 繁男	12~13
Ⅱ東京都の状況	山口与四郎	12~19
Ⅲ神奈川県の場合	時任 直人	12~25
最近の流行に於けるインフルエンザ		
の臨床	佐野 一郎	12~32
最近のインフルエンザの病原学	福見 秀夫	12~37
疫学の立場からみたインフルエンザ		
対策	平山 雄	12~42

〔研究報告〕

先天性股関節脱臼ならびにその準備状態の分布について	今田 拓・他	1~47
鉤虫 Carrier の臨床的研究(第3報)		
一鉤虫寄生の農民労働力に及ぼす影響一	石崎 達・他	1~53
多槽式尿尿処理の研究(第2報)	木村 道也	1~58
ゴボウ巻による S. enteritidis の食中毒例について	鈴木ミツエ・他	2~53
青森市に発生せる秋刀魚飯ずしによる Botulinus 中毒例	川口義雄・他	2~57
砒素混入醬油中毒事件の疫学的観察	野瀬 善勝	3~29
東京都における転入人口の日本脳炎流行に及ぼす影響について(第1報)	小原菊夫・他	3~44
先天性股関節脱臼集団検診用レ線間接撮影装置の考察	小野 宏・他	3~47
攪乱予防装置を附した尿尿槽の消化機能に関する研究	田波潤一郎・他	3~49
兵庫県の一農村に於ける寄生虫(特に鉤虫)に関する調査報告	中西靖郎・他	3~54
長野県下一農村に於ける井水の細菌学的研究, 特に汚染指標としての腸球菌に関する検討	柳沢君子・他	3~58
平塚市港小学校に発生したブドウ球菌性食中毒のフーヰ型別による検索	羽深泰雄・他	3~63
最近30年間の関門港におけるコレラ検疫成績	前田 弘近	5~101
塵紙に対する一つの工夫	砂田 毅・他	5~105
ストロンチウム90の将来の蓄積	檜山 義夫	6~21
Piperazine 製剤に依る蛔虫治療効果について	森下 薫・他	6~27

「おむつかぶれ」に対するビタミン

AD入軟膏の治療経験	松隈 恒夫	8~53
生体の負担より見た農業労働改善の目標	大石省三・他	8~55
一尿尿消化槽における寄生虫卵の検査成績	小島 邦子	9~55
赤痢保菌者の疫学的研究	高木 剛一	9~61
含嗽	木光村雄・他	9~75
北陸地方における都市事務系職員の体力測定成績	岡崎 康夫	10~39
生体の負担より見た農業労働改善の目標	大石省三・他	10~46
栄養改善が身体並びに精神状況及び機能に及ぼす影響について	佐伯芳子・他	10~54
警察寮の栄養改善について	佐伯芳子・他	10~54
新潟県農山村に於ける年少労働力の使役とその対策	手島 知明	10~61
九州, 北海道等の炭鉱従業員寄生虫相の比較研究	佐々 学・他	4~19
水俣奇病に関する研究(1)	佐藤徳郎・他	11~28
肝硬変訂正死亡率の県別観察	柚木 角正	11~31
乳房及び乳嘴の形態について	佐藤 千春	11~37
6×6判フィルムによる先天股脱の判定基準について	水野 宏・他	11~38
乳幼児アメーバ赤痢の流行例と二三の実験観察	岩井澄雄・他	11~45

〔座談会〕

話題の新刊書をめぐって	石垣純二・他	2~37
医学校における衛生・公衆衛生教育のあり方		6~32
公衆衛生の反省		7~36
保健所の在り方を語る(1)	石垣純二・他	10~28
保健所の在り方を語る(2)	石垣純二・他	11~52
インフルエンザを語る	小島三郎・他	12~49

〔アンケート〕

公衆衛生は黄昏か?(1)	楠本正康・他	1~30
公衆衛生は黄昏か?(2)	山口正義・他	3~16
公衆衛生は黄昏か?(3)	石垣純二・他	5~81

〔インタビュー〕

保健婦に何を期待するか	斎藤 潔・他	8~3
WHO ニュース	曾田 長宗	6~52
WHO ニュース	曾田 長宗	10~64

〔統計のページ〕

地域と疾病	厚生省統計調査部	6~46
最近における実態調査のあらまし(1)	前田 正久	7~51
最近における実態調査のあらまし(2)	前田 正久	11~62